

令和6年8月9日

青森県教育委員会第907回定例会

期 日 令和6年8月9日(金)  
場 所 教育庁教育委員会室

## 会 議 次 第

1 開 会

2 報 告

○報告第1号 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について … 1

3 閉 会

# 報告第1号

## 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について

教科に関する調査について

※表の値は本県（全国）である。

	問題数	平均正答数	平均正答率(%)	評価の観点ごとの平均正答率(%)	
				知識・技能	思考・判断・表現
小学校国語	14	9.8 (9.5)	70 (67.7)	73 (69.8)	67 (66.0)
小学校算数	16	10.3 (10.1)	64 (63.4)	74 (72.8)	52 (51.4)
中学校国語	15	8.5 (8.7)	56 (58.1)	61 (62.0)	54 (55.4)
中学校数学	16	8.1 (8.4)	50 (52.5)	62 (63.1)	25 (29.3)

本県公立小・中学校の国語及び算数・数学の平均正答率は、小学校においては、全国平均を上回り、中学校においては全国平均を下回った。知識・技能の観点及び思考・判断・表現の観点においては、小学校では全国平均を上回り、中学校では下回った。

### 小学校国語

- ・人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができている。
- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、自分の考えを伝えることに課題が見られる。

### 小学校算数

- ・折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはめて記述することができている。
- ・速さを道のりと時間の関係から捉えることに課題が見られる。

### 中学校国語

- ・文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができている。
- ・自分の考えが話合いの話題や発言の内容とどのように結び付いているのか、つながりが分かるようにまとめることに課題が見られる。

### 中学校数学

- ・等式を目的に応じて変形することができている。
- ・筋道を立てて証明し、図形を考察することに課題が見られる。

### (調査結果の取扱いについて)

文部科学省は実施要領で「調査により測定できるのは学力の特定の一部分であること、学校における教育活動の一側面であることなどを踏まえるとともに、序列化や過度な競争が生じないようにするなど教育上の効果や影響等に十分配慮することが重要である。」としており、本県も同様の考えで取り扱う。

また、文部科学省は、「細かい桁における微少な差異は学力面で実質的な違いを示すものではないと考えられることから、都道府県別の平均正答率は整数値で公表」としているため、本県も整数値で公表する。

質問紙調査について（児童・生徒質問紙調査）

(1) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

(特徴のある項目を抜粋)

①小学校

質問事項	令和6年度調査	過年度調査
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができている。	89.2% (+5.5)	
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。	85.6% (+4.8)	⑤82.7% (+5.3)
5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた。	88.5% (+4.2)	⑤86.9% (+4.0)
5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた。	68.1% (+0.5)	⑤64.8% (+1.1)

※1 上の表の数値は、「している」「どちらかといえばしている」又は「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」等の合計で、( )内は全国平均との差である（以下、同様）。

※2 過年度調査欄の○数字は、同様の質問が出された直近の年度である（以下、同様）。

②中学校

質問事項	令和6年度調査	過年度調査
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができている。	83.0% (+4.0)	
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている。	88.7% (+3.8)	⑤90.5% (+1.6)
1、2年生の時に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。	78.8% (+3.4)	⑤70.4% (+1.3)
1、2年生の時に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた。	64.3% (-0.3)	⑤56.0% (-6.1)

(2) 特徴的な結果が出た項目

①小学校

質問事項	令和6年度調査	過年度調査
国語の勉強は好きである。	70.1% (+8.1)	⑤69.6% (+8.1)
算数の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしている。	70.2% (+6.6)	
分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている。	85.8% (+5.1)	
5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、週3回以上使用した。	55.9% (-3.6)	⑤56.5% (-5.9)
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり1時間以上、勉強をした（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）。	50.6% (-4.0)	⑤59.6% (+2.5)

②中学校

質問事項	令和6年度調査	過年度調査
国語の勉強は好きである。	73.5% (+9.2)	⑤65.5% (+4.1)
数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える。	65.4% (+8.2)	④52.9% (+5.6)
学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。	86.0% (+5.4)	⑤77.1% (+5.5)
1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていた。	77.3% (-5.1)	⑤73.0% (-5.7)
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり1時間以上、勉強をした（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）。	51.8% (-12.5)	⑤56.4% (-9.4)

質問紙調査について（学校質問紙調査）

(1) 小学校教育と中学校教育の連携及び家庭や地域との連携等、家庭学習

(特徴のある項目を抜粋)

①小学校

質問事項	令和6年度調査	過年度調査
前年度までに家庭学習の取組として、学校では、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えた。	99.6% (+3.6)	⑤97.9% (+2.2)
コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まった。	84.6% (-4.3)	⑤83.5% (-2.6)

②中学校

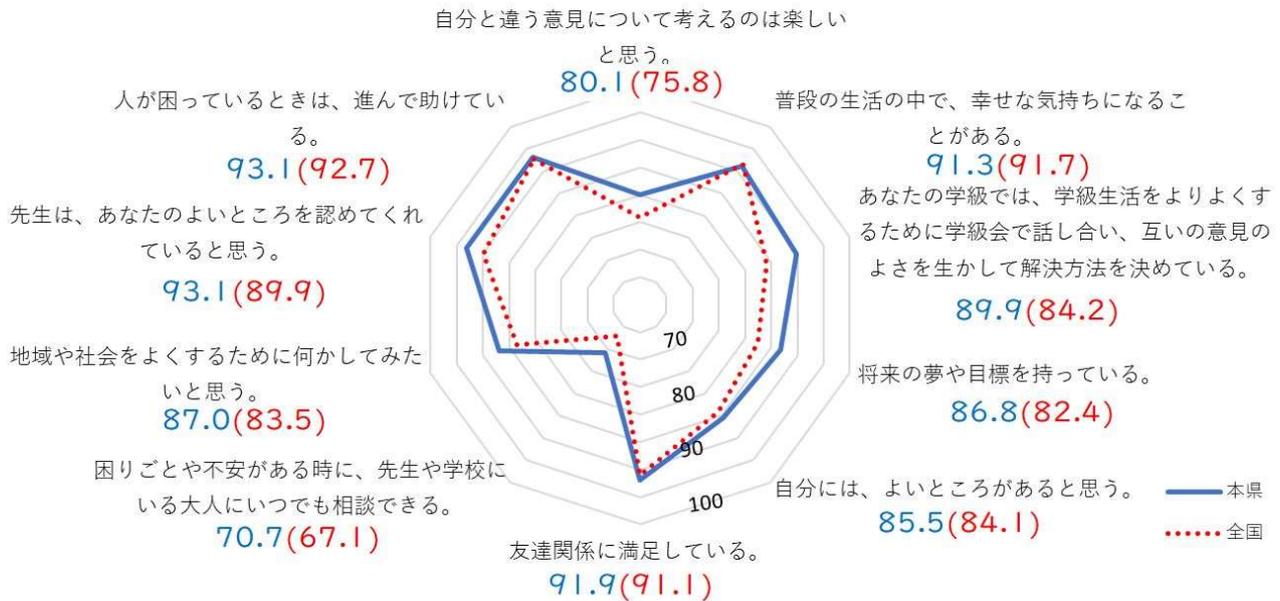
質問事項	令和6年度調査	過年度調査
前年度までに、家庭学習について、生徒が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行った。	84.9% (+0.9)	
前年度に、職場体験活動を1日以上行った。	60.7% (-15.4)	⑤40.4% (-13.7)

【参考資料】

こどものウェルビーイングに関連すると考えられる項目（児童・生徒質問紙調査から）

質問事項	小学校	中学校
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。	80.1% (+4.3)	79.5% (+3.3)
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある。	91.3% (-0.4)	90.4% (+0.6)
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。	89.9% (+5.7)	90.1% (+3.8)
将来の夢や目標を持っている。	86.8% (+4.4)	73.1% (+6.8)
自分には、よいところがあると思う。	85.5% (+1.4)	86.4% (+3.1)
友達関係に満足している。	91.9% (+0.8)	90.9% (+0.8)
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。	70.7% (+3.6)	72.0% (+4.5)
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。	87.0% (+3.5)	80.3% (+4.2)
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。	93.1% (+3.2)	93.9% (+3.5)
人が困っているときは、進んで助けている。	93.1% (+0.4)	91.5% (+1.4)

## ①小学校



## ②中学校

